

II 友愛記念病院の消化器がん治療

創立以来、消化器がんの治療に力を入れてきた友愛記念病院。地域No.1を誇るその実績を認められ、厚生労働大臣から「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。

地域トップ、県内でも有数の治療数！

友愛記念病院は、創立以来ずっと消化器がんに対する治療に力を入れてきました。手術数を含め消化器がんの治療数は、この地域でずっとトップの座を守っており、近隣他施設の追従を許しません。茨城県内でも有数の治療数で、その実績を認められ、厚生労働大臣から「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。

消化器がんの診療にあたる医師数は、常勤医師だけでも13名おり、大学病院並みの陣容を誇っています。消化器がんの外科的治療の専門医である日本外科学会外科専門医・指導医、日本消化器外科学会認定医、日本消化器病学会専門医も多数在籍しています。

診察から治療まで首尾一貫、同じ医師が担当

消化器がんの患者さんを診療する診療科としては、通常「消化器内科」と「消化器外科」があります。しかし当院では、消化器内科と消化器外科が一緒になって「消化器科」として診療を行っています。そのため、消化器がんの診断から内科的治療、外科的治療まで担当医が変わらず行うことができます。他の病院であれば、診断は消化器内科で行い、外科的治療が必要な場合は消化器外科に紹介され担当医も変わるわけですが、当院では首尾一貫して同じ医師が担当でき、患者さんからも「とても安心できる」と評価いただいています。

大学病院の2倍にも相当する内視鏡検査数！

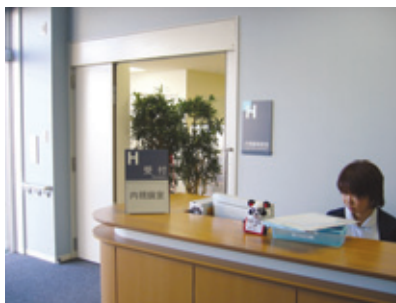
胃や大腸の内視鏡検査数も県内で3本の指に入るそうで、毎日朝から晩まで内視鏡室3室がフル稼働しています。今年度は年間内視鏡検査数が9,000件を越える勢いで、この件数は近隣の大学病院クラスの医療機関で行われている内視鏡検査数の2倍にあたるそうです。

最近では、胃、大腸、食道といった消化管に発生したがんの早期のものの中には、内視鏡を用いた切除術で根治を得られるものも多く、こうした内視鏡的切除数も相当の数にのぼっています。

また、内視鏡的切除の適応外となった消化器系のがんに対する従来の外科的切除も依然毎年かなりの数になっています。

消化器がんの手術数が多いため、東京大学、東京医科歯科大学、筑波大学の消化器外科学教室の「教育関連病院」に指

定され、各大学医局から毎年合計5名の若手医師が約2年交代で修練に来ています。



年間約9000名近くの患者さんが訪れる内視鏡検査。3部屋ある検査室は、常にフル稼働しています。

